

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 5月 14日

事業所名 マーブル高石校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	パーテーションの設置	
	2 職員の配置数は適切である	50%	17%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	17%		建物の2階にある。手すりはあるがエレベータがない
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	67%	0%	職員の目標を掲げている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50%	0%	独自アンケートを保護者様へ配布している	保護者様からのニーズを整理し行う
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	50%	0%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	17%	0%	内覧会を行っている	内覧会を行い地域や各関係者からのご指摘や意見を伺う取り組みを行っている。コロナウィルスの為中止中。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	67%	0%	社内研修の実施	外部研修の参加を増やす
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	67%	0%	送迎時に随時保護者様からのニーズを伺っている	より支援の質の向上を図る為、ニーズ・課題分析の質を高める
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	0%	毎日ミーティングを実施している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	67%	0%	職員全員で決めている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	67%	0%	季節行事を取り入れている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	50%	0%	平日、休日に変化をつけ設定している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	67%	0%	集団イベントや個々でできる内容に分けて行っている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	0%	毎日、行っている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	0%	随時、行っている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83%	0%	リスト化し毎日チェックしている	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	50%	0%	必要に応じて行っている	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	50%	0%	行っている	ガイドラインについて職員で再確認を行う

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	50%	0%	セルフプランの方には他事業所へこちらからアポを取り連携をしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	83%	0%	学校と共有できるように関係性を深めている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	17%	17%		医療ケアができる職員がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	17%	17%		行えていない為、今後連携や情報の共有をしていく必要がある
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	17%	0%	対象者がいない	障害者支援の事業所との交流会に参加していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	17%	17%		今後、していく必要がある
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	17%	交流はないが、地域交流を行っている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	17%	17%		今後、していく必要がある
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	83%	0%	送迎時に行っている	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	33%	17%		ペアレントトレーニングの勉強をしていく必要がある
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	50%	0%	契約時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	67%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17%	17%	保護者会、交流会を行っている	コロナ渦とあり交流会、保護者会の行い方を考える必要がある
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	50%	0%	保護者様が伝えやすい環境、関係性を構築している	特定の職員だけではなく職員全員と保護者様との関係性をより深める
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	67%	0%	SNSで発信している	
	35	個人情報に十分注意している	67%	0%	SNSでの写真ではリスタ化し確認している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	67%	0%	個別に対応している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	17%	交流会を実施している	コロナ渦で中止している

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	33%	0%		再度、保護者様に周知する必要がある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	33%	17%	月に1度避難訓練を行っている	消防、警察を招いた避難訓練など行う必要がる
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	50%	17%	2カ月に1回勉強会や振り返りを行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	17%	17%	契約書類に記載している。また、説明行い同意の基、契約をしている	個別支援計画の記載や別紙での誓約書はない。状況に応じて保護者へ説明と同意など事前に行い対応行う。また、必要になった場合は個別支援計画に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	17%	0%	除去食の提示	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	67%	0%	気軽に書ける様式にしている	